KEYENCE BZ-X700で撮影した 連結画像のとき

マクロ内でやっていること

Plugins>Stitching>Grid/Collection Stitching (Type= Grid: snake by rows, order= Right&Down) にてDNA画像を連結 → Image>Stacks>Z Project …>Average Intensity

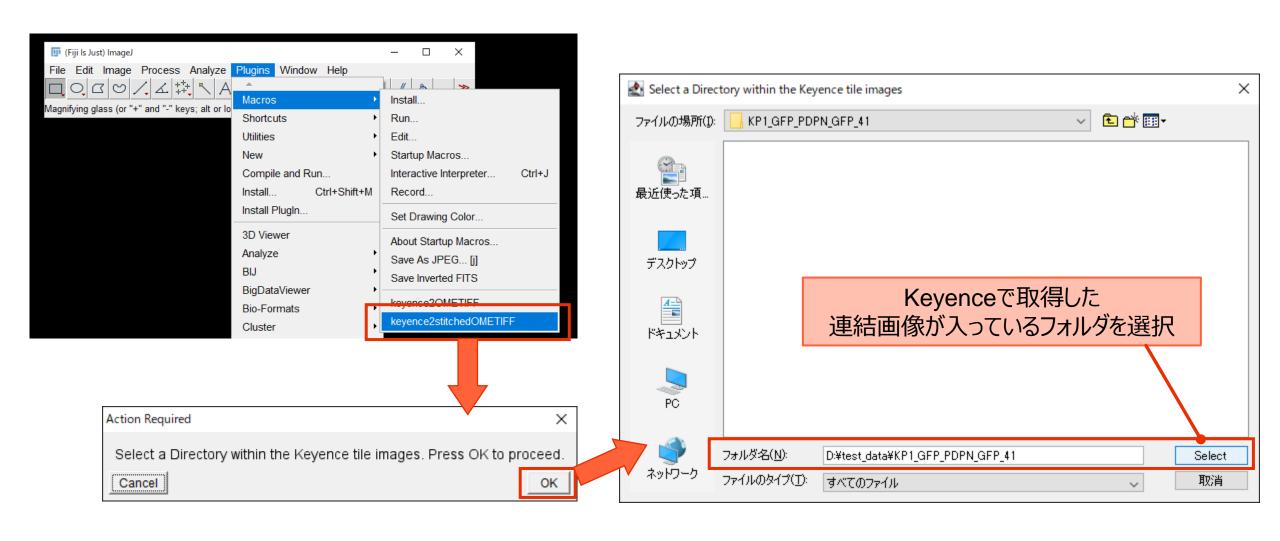
その他のChannelの画像をDNA画像連結時の座標で連結

Plugins>Stitching>Grid/Collection Stitching

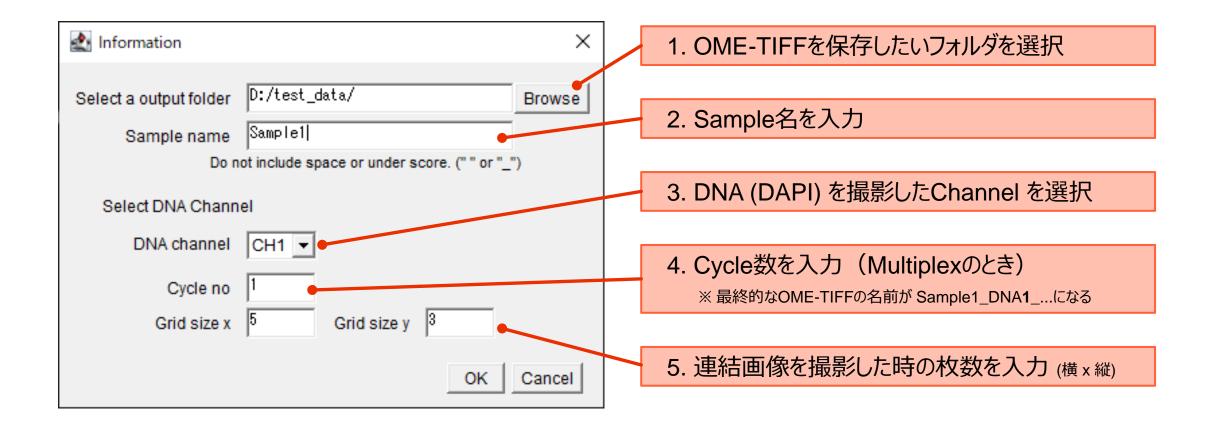
(Type= Positions from file, order= Defined by TileCnfiguration)

- → Image>Stacks>Z Project ...>Average Intensity
- → Image>Stacks>Images to Stack
- → Image>Hyperstack>Stack to Hyperstack
- → Bio-formats exporter で画像をOME-TIFFで保存

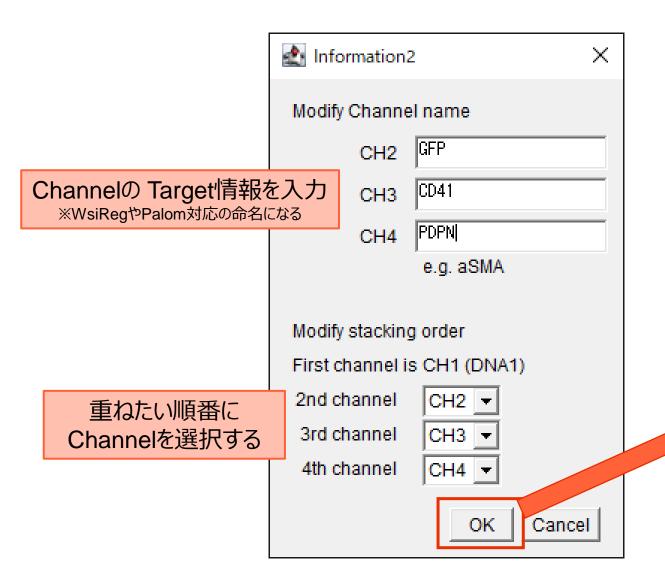
ImageJでキーエンス撮影蛍光画像を重ねてQuPathで観察したい! -連結画像ver.① プラグインを使用する (Plugins > Macros > keyence2stitchedOMETIFF)



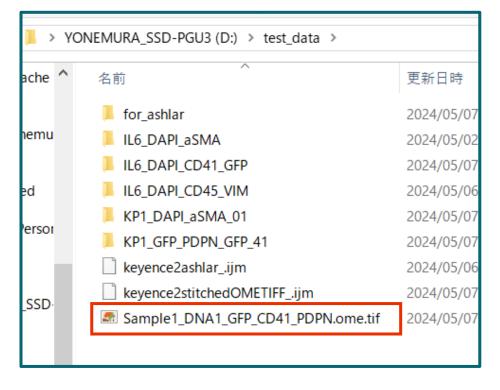
ImageJでキーエンス撮影蛍光画像を重ねてQuPathで観察したい! -連結画像ver.-② 情報を入力する



ImageJでキーエンス撮影蛍光画像を重ねてQuPathで観察したい! -連結画像ver.③ さらに情報を入力してOKするとOME-TFF変換された連結画像が保存される



完了すると全ての画像ウィンドウが閉じる



保存されている!

補足 -自分のPCにも入れたいとき-

Pluginのスクリプトは Fijiアプリのフォルダ内に保存されているので、 コピーして自分のPCの同じ場所に保存する

Windows の場合

Fiji.app > plugins > Macros > keyence2OMETIFF_.ijm

